

西脇病院

地域に信頼される良質な医療を提供します
 (022・0111) <http://nshp.jp/>



▼臨床工学部から▲

今年4月に血液浄化センターと医療機器管理センターで個別に勤務していた臨床工学技士が一つに統一され、臨床工学部が当院で開設されました。また、新たに2名が入職し、5名の体制で各種臨床工学業務がスタートしています。それでは臨床工学部の主な業務内容を市民の皆さんにお知らせします。

まず1番目の業務は血液浄化センター業務です。私たち臨床工学技士は、主に血液透析の開始と回収業務、機械の保守点検を実施しています。また、肝臓などの病気で溜まった腹水のろ過濃縮などの特殊血液浄化業務も行なっています。さらには血しょう交換療法やLDL吸着、ビリルビン吸着療法にも携わっています。

2番目の業務は循環器内科

になります。心筋梗塞の疑いのある患者さまに対して、アングリオ室で血管内超音波診断装置(IVUS)や大動脈バルーンポンプ(IABP)を用い、心臓のカテーテル検査(CAG)や心臓のカテーテル治療(PCI)の業務を行なっています。また不整脈患者さまにおいてはプログラマーを用い、ペースメーカーの植え込み時やペースメーカー外来時のフォローアップ検査業務にも関わっています。

3番目の業務は、脳神経外科において頸動脈の狭窄のある患者さまに対して頸動脈ステント留置術(CAS)の際に、血管内超音波診断装置(IVUS)の操作です。

4番目の業務は、消化器内科において肝臓がんの治療に

対してラジオ波焼灼療法(RFA)の機器操作を行うこと

です。5番目の業務は、血液内科において末梢血幹細胞採取の際の、遠心血液成分分離装置の機器操作です。

6番目の業務は、重症病棟業務において感染や手術などの強い炎症がある患者様に対して、エンドトキシン吸着の実施や、重篤な患者さまに持続的血液透析ろ過(CHDF)も行っています。さらに呼吸不全患者さまに使用されている人工呼吸器の使用中のラウンド点検業務も実施します。

7番目の業務は医療機器保守点検業務になります。院内で使用している各種医療機器の保守点検を行っています。また、医療機器の適正使用を含めた医療安全対策やスタッフ

フの教育指導を行なっています。

私たち臨床工学技士の業務を簡単に説明させていただきます。市民の皆さんには「病院にはいろいろな職種の仕事がある」と感じているんだなあ。」と感じていただければ幸いです。

▼エントランスギャラリー▲

富永信義さん(西脇)の色彩展を開催します(市展、県展入選入賞作品)。

▼とき 8月1日(木)〜30日(金)

▼ところ 西脇病院エントランスホール
 ▼問合せ 施設管理課
 (病院内線363)

▼西脇病院「健康セミナー」▲

毎月1回、西脇病院医師による「健康セミナー」を開催しています(参加費は無料)。

▼とき 8月19日(月) 午後3時〜1時間程度

▼ところ 病院講堂(2階)

▼講師 産婦人科医 野村和久
 ▼演題 お産についてのお話
 ▼問合せ 病院総務課
 (病院内線366)



3種類の播州織トートバッグ

▼出産祝い播州織バッグ贈呈▲

西脇病院では、今年7月から、市の将来を担う子どもたちの健やかな成長を願って、

西脇小児医療を守る会コラム 60

ママにだってできるんだよ!!



一緒に活動してみませんか?

6月15日に西脇保育所にて今年で3度目の開催となる勉強会を行いました。3歳児の保護者の方を対象に地域医療の現状や夜間救急のかかり方、薬の飲み合わせ方などをお話ししました。すでに子育てを経験され、ご存じのことも多いか



▲西脇保育所での勉強会

と思います。勉強会を通じて今ある知識を再確認し、新しく得た情報をいざという時に役立てていただければ嬉しく思います。再度開催の機会を設けていただきありがとうございました。

《メンバー募集》

子育てしやすい地域づくりのために活動しています。『ちょっとやってみたい』『私にも何かできないかしら』『友達を作りたい』など興味のある方、私たちと一緒に活動しませんか?それぞれに出来ることを活かせる楽しい会です。興味のある方は下記の事務局までご連絡ください。

◆問合せ 西脇小児医療を守る会
 ☎090-8538-1337 石井
<http://www.kodomonomirai.com>
info@kodomonomirai.com

西脇多可休日急患センター

◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室
 ◆診察日 日曜日(年末年始を除く) 午前9時〜午後5時
 ◆問合せ ☎23-5380

※病状やけがの様子など、電話であらかじめご連絡ください。必ず健康保険証を持参ください。

8月の出務予定医師	
8月4日(日)	柳井 映二 先生
8月11日(日)	矢持 健 先生
8月18日(日)	大隅 昭幸 先生
8月25日(日)	上田 正生 先生



「お菓子でクスリをつくってみよう」コーナー

健康バンザイ

92

西脇病院の医師が健康や病気に関するさまざまな情報を提供します。



乳がんの治療について
 乳腺外来
 三輪 教子

約30年前には腫瘍が小さくても、拡大乳房切除術(乳房切除+胸筋切除+リンパ節廓清)が広く行われていました。しかし、拡大切除をしても再発する患者さんが後を絶たず、なぜだろう、と乳腺治療に携わる医療者は考え、「乳がんは早期から目に見えないがんの芽が全身に散らばるのかもしれない。それならば局所治療(手術)に加えて、全身治療(薬物療法)を行ったら」との発想から薬物治療が追加され、治療成績が大幅に改善されました。現在の乳がんの標準治療は、手術、放射線治療、薬物療法の3本立てで、予後を決めるのは乳がんの個性に合わせた再発予防です。つまり、手術で腫瘍を取りきって治療が終了ではなく、再発予防のための薬物療法が必要で、乳がんのタイプによっては抗がん剤が必要となります。この点が他のがんと大きく異なる点です。乳がんのタイプにあった治療薬の選択方針は、ザンクトガレンでの国際会議で討議され、これを参考に日本乳癌学会の治療指針が改善されます。その指針に沿って私たちは乳がんの治療を行っています。

再発乳がんの標準治療は確立しておらず、初回の国際会議が2011年にリスボンで開かれ、今後の治療方針の改善に役立つことが期待されます。ザンクトガレンと異なり、この会議では治療指針の話し合いに患者さんや看護師さんも加わっています。より全人的な治療が必要であるからだと思います。その会議で私も発表し、再発乳がんの治療指針についての学会報告をインターネット上で公開しています。
http://www.jccbn.net/report/images/20111103_niwapa.pdf

▼第5回西脇病院フェスタ開催▲

今年「夏にダッシュ!」地域との絆を大切に!テーマに、普段なかなか知ることのできない院内の探検ツアーや「お菓子でクスリをつくってみよう」コーナー、西脇病院の医師およびスタッフによるバンド演奏などで、病院内とその周辺はにぎわいました。

病院は病気やけがをしたときにしか訪れない場所です。しかし、開業医の皆さんやボランティアの方々のご協力のおかげで、地域の皆さんと交流を深めることができました。今後地域に必要とされ、信頼される病院として、さまざまな取り組みを行ってまいります。